

# 実践のための知を探る

## 大学理系と高校の知をつなぐ新しい高大連携を求めて

今、時代は、現実生きて働く「知」力を求めている。大学はグローバル化を迎え、理系を中心に専門知を現実社会の問題解決に活かす実践的なアプローチが必須になりつつある。これを可能にするためには、大学の知を準備する高等学校での教育の変化が欠かせない。私たち大学発教育支援コンソーシアム推進機構と大学総合教育研究センターは、大学学部生、大学院生、高校生が一緒になって社会的な課題に取り組みながら、答えを一つに限定せず、一つの解が次の問いを生む実践的な学びを模索する新しい高大連携プロジェクトを開始する。その開始にあたって本シンポジウムでは、大学側からその趣旨と具体的な形を提案し、教育界からの提言と要望を得て、新しい高大連携実現のためのビジョンを明らかにしたい。今双方の間にあるコンテンツ・ギャップを解消し、高大連携して世の中の変革に結びつく創造的な実践を可能にする知を探る。

2013年

9月14日(土) 13:00～18:00

東京大学 本郷キャンパス(東京都文京区本郷7-3-1)

情報学環・福武ホール 福武ラーニングシアター

<http://fukutake.iii.u-tokyo.ac.jp/access/>

都営大江戸線 本郷三丁目駅 徒歩7分 / 東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅 徒歩8分 / 東京メトロ南北線 東大前駅 徒歩10分

### 【プログラム】

13:00 <開催の辞>

野城智也(東京大学 副学長(初中高等教育連携担当))

13:15 シンポジウム趣旨説明

吉見俊哉(東京大学 大学総合教育研究センター センター長)

### ◆ 大学からの提言

13:30 大和裕幸(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授)

14:10 正木春彦(東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授)

(14:50-15:05 休憩)

### ◆ 教育界からの提言

15:05 合田哲雄(文部科学省 高等教育局 企画官)

15:45 関根郁夫(埼玉県教育委員会 教育長)

(16:25-16:40 休憩)

### ◆ フロアからの提言

16:40 実践知を軸とした高大連携をどう実現すべきか

司会:三宅なほみ(東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構 副機構長)

17:50 <閉会の辞>

**参加申込** ※入場無料、要申込み

[info@coref.u-tokyo.ac.jp](mailto:info@coref.u-tokyo.ac.jp)宛に、件名を「9月14日シンポジウム参加申込み お名前」として、

(1) お名前(ふりがな) (2) 所属 (3) メールアドレスをお送りください【9/10(火)締切】

### 問い合わせ先

大学発教育支援コンソーシアム推進機構 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1(大学総合教育研究センター気付)

TEL 03-5841-3682 E-mail [info@coref.u-tokyo.ac.jp](mailto:info@coref.u-tokyo.ac.jp) ウェブサイト <http://coref.u-tokyo.ac.jp>

【主催】東京大学 大学総合教育研究センター、東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構